

キタを愛する人たちのための、キタを再発見するマガジン。ネットに載らない情報テコ盛り。

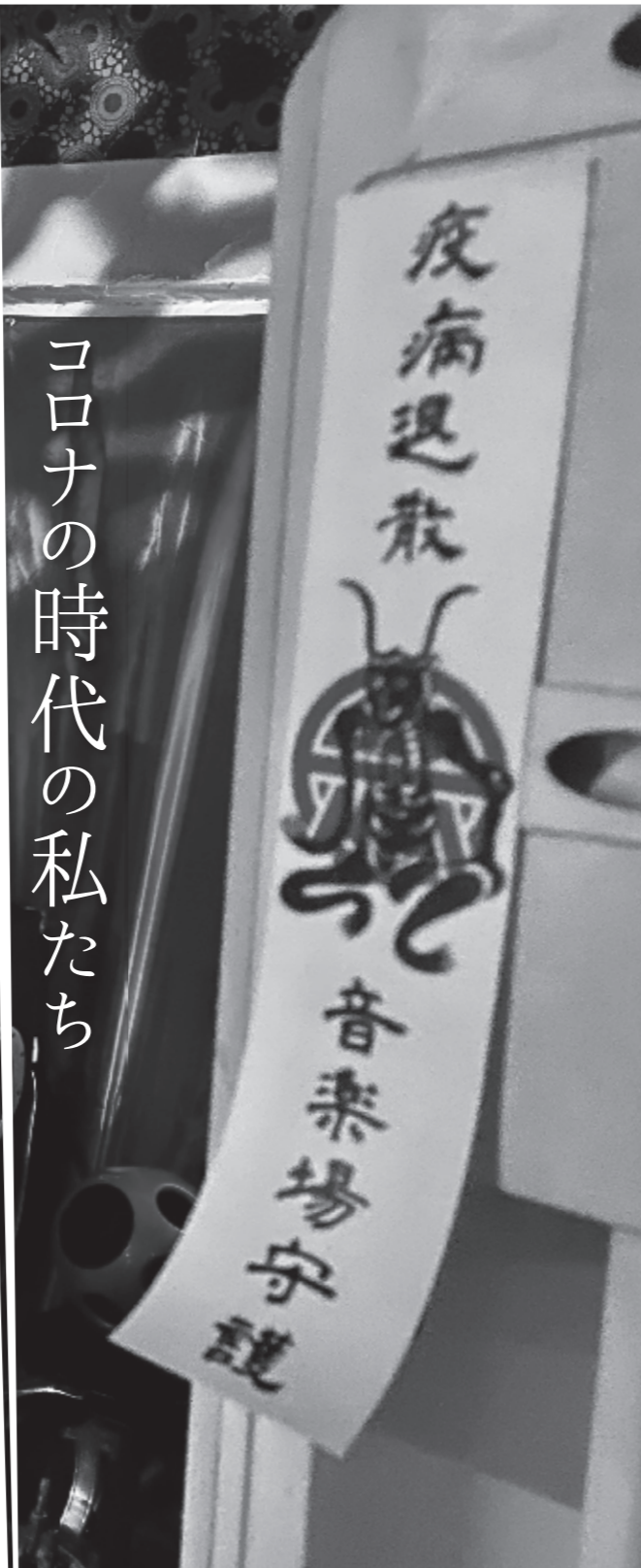
つながるひとまぢぶんか
つひまぶ vol.17

コロナ禍 つひまぶ 11月号

北区魅力発信フリーペーパー「つひまぶ」vol.17 2020年11月1日発行 編集・発行：北区のおもろ通信団（編集長／浅香保ルイス龍太 編集スタッフ／秋山暁子・稲葉真理・田口和成・平井裕三・松岡慧祐）協力：大阪市北区・北区コミュニティセンター・奈良県立大学地域創造学部 連絡先：[mail] tsuhimabu@gmail.com [web] https://tsuhimabu.com 定価：0円 主な配布場所：大阪市北区役所・北区民センター・大淀コミュニティセンター・北図書館・大阪市住まい情報センター・大阪市北区社会福祉協議会・江之子島文化芸術創造センター・大阪市ボランティア市民活動センターほか多数（配布場所はwebにて随時お知らせします）※当雑誌の内容、テキスト、画像、イラスト等の無断転載・無断使用を禁止します。



コロナウイルスが過ぎたあとも、私たちが忘れたくないこと



コロナの時代の私たち

ミュージシャンのタテタカコが全国のライブハウスに配りまくっている元三大師に願いを託したお礼がムジカにも！

大阪市公文書館で聞く

過去の伝染病に大阪市はどう対応したのか

大阪メトロ西長堀駅を降りると、市立中央図書館があります。その南の通りに面したところにある大阪市公文書館は、歴史的文化的価値を有する公文書やその他記録を保存し、広く一般の利用に供している施設です。この公文書館で11月1日から8日まで開催される秋の展示が、『大阪の感染症対策—公文書にみるその足跡—』。これは、興味が湧きます。貴重な資料を見せていただきますながら、お話をうかがいました。

府下の伝染病病院——発祥は鶴満寺

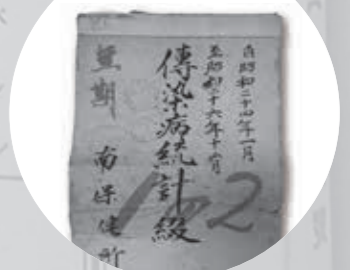
明治の初め、猛威を振るっていたのはコレラ。1877年（明治10年）、長崎で9月に発生したコレラが1カ月後の10月に近畿でもまん延します。このとき、大阪府にまず設置されたのが、西成郡南長柄村鶴満寺の仮避病舎。現在の北区長柄東一丁目にある鶴満寺で、古い寺の建物を利用した仮の避病舎でした。避病舎には、独身の人や旅行者など、身近に看護する人がいない患者が収容されていたそう。のちに長柄避病院となり、多くの伝染病患者を受け入れました。1877（明治10年）年以降も、大阪は何度もコレラの大流行に見舞われています。大阪府制発足時の市域となる東区・南区・西区・北区の4区制が発足し、都市の近代化が進んだ1879年（明治12年）の患者数は9千人を超え、また、前年の淀川大洪水により衛生状態が悪化していた1886年（明治19年）の患者数は7千人を超えます。その死亡率は8割に上ったそう。1886年（明治19年）7月2日の朝日新聞に掲載されている「虎列拉（コレラ）病新患及死

亡日表」によると、府下の5区42郡（当時は今の奈良県が大阪府に含まれていた）の新患者数は174人（前日比15人増）、死亡者は118人（前日比10人減）。なかでも4区の新患者数は72人、死亡者は49人と半分近くを占めていたようです。1887年（明治20年）、区部専用の恒久的な避病院として東成郡天王寺村筆ヶ崎に桃山避病院が建設されたことにより、長柄避病院は、同年、取り壊されたそうです。

スペイン風邪——対策は今と同じ

今から100年ほど前、1918年（大正7年）から1920年（大正9年）に、パンデミックを起こしたのがスペイン風邪。日本では「流行性感冒」と呼ばれていました。のちに「科学的に確認された最初のA型インフルエンザの流行で、世界人口約18億人のうち2〜4千万人が亡くなったそう。今年9月28日に、新型コロナウイルス感染症による死者数が100万人を超えましたが、現在の世界人口は約78億人。当時、スペイン風邪に立ち向かう人類がいかに無力だったかが、うかがえます。この時期の「大阪市公報」を見せてもらうと、当時の対策が記されています。1920年（大正9年）1月24日の大阪市長の内訓は、流行性感冒の予防に関し、府知事より内訓があったので、実行するように、とのこと。その内訓には、「本病ハ其ノ性質上豫防方法甚タ困難ナルモノ」であり、「自衛的注意ヲ喚起」することが最も緊急と伝えらうえで、関係職員が率先して「特ニ呼吸保護器ヲ使用ヲ實行」し、

伝染病統計綴（南保健所） 自昭和24年1月 至昭和26年12月



本文とはまったく関係ないのですが、公文書館で見つけた年代物の萌えアイテム（笑）違筆過ぎる表紙をめくると、昔懐かし？青焼きの資料が。保存期間は「無期」！

編集後記

コロナ禍は全世界を巻き込むグローバルな危機となりましたが、それが人々にもたらした影響は必ずしも一様ではありません。今号のつひまぶは、さまざまな立場からコロナ禍を経験した市井の人々の記録です。ちなみに自粛期間中の方が家にも、ある変化が起こりました。私の妻は4年間の不妊治療の末、死産を2度経験した猛者なのですが、その後、心身を立て直すために治療を1年休んでいました。そして、今春に重い腰を上げて治療を再開しようとした矢先に緊急事態宣言発令。やむなく治療も自粛することになったのですが、できないことをやりたくなるのが人の性です。春はまだ無理をして治療を再開しようとしていた妻が、自粛期間を経て「早く治療したい」と前向きな言葉を口にするようになったのです。こうして8月から満を持して治療を再開することになりました。それをコロナの好影響と表現するのは不謹慎ですが、自粛期間は私たち夫婦が再び困難に立ち向かうための充電期間でもありました。（松岡慧祐）



「つひまぶ」では、編集メンバーを随時募集しています。興味がある方は、Facebookにてご連絡いただくか、大阪市北区役所政策推進課（連携推進）（tel. 06-6313-9743）までご連絡ください。

4月 家にこもりがちなお年寄りにどう寄り添うか



宿題にした脳トレ問題を説明してくれる木下さん

た大淀東地域。新型コロナウイルスの流行が拡大するなかにあっても、できるかぎりの注意を払って活動を続けていきましたが、緊急事態宣言の発令を受け、4月5日は活動を中止せざるを得ませんでした。「できることは、しよう」。木下さんは教室のサポーターさんたちと相談し、いつも教室に来ていたみなさんに宿題を届けることにしました。鏡像の間違い探しや、完成すると昭和の懐かしい洗剤が並ぶ絵合わせなど、自宅でもひとりでも挑戦できる4週間分の脳トレ問題を考案し、お手紙とともに40人ほどの参加者のお宅に毎月ポストイングしたのです。

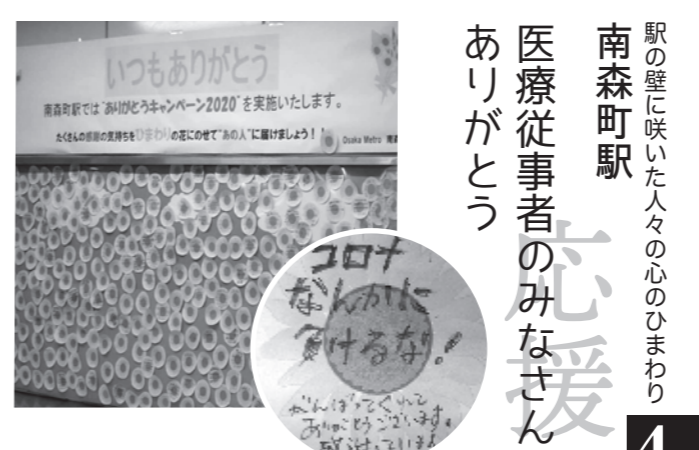
はつらつ脳活性化教室を運営する 木下眞弓 さんに聞く

ともあります。宿題は、みんなの共通の話題に。そんな日常の接点で、気になる様子を感じ取った場合には、福祉の専門家につながるなど、工夫しながら見守りを続けたそうです。「あの問題解決した？」と、新しく引越して来られた方でも、古くから住んでいる住民との会話のきっかけになってくれます。ご家族と同居していても、仕事で出掛ける屋敷は独居となっている人も地域がつながっていければ日中の声掛けができます。「どんなときも、気持ちのつながり、誰かは近くにいるよ」と思えることが必要やるね」。明るく温かく笑いながら、木下さんは語ってくれました。（秋山暁子）

2月 いち早く活動の停止を決断した ジャーダック さんに聞く

職員の生活を 守れないなら 団体を畳む覚悟でした

「1月頃から、これはやばいことになるぞ」と思っていました。2月の初めには、職員は自宅待機。リモートワークにしました」。特定非営利活動法人 Japan Emi Donation & Charity（通称：ジャーダック）代表理事の渡辺貴一さんは語ります。ジャーダックは、寄付された毛髪でウィッグを製作し、髪に悩みを抱える子どもに届けるヘアドネーションに日本で初めて取り組んだ団体です。



4月

医療従事者のみなさん ありがとう

駅の壁に咲いた人々の心のひまわり 南森町駅

3月 天満宮のお蔭元 天神橋三丁目商店街 振興組合 さんに聞く

悪疫退散の木札は TV局の取材から



「コロナウイルス 天満宮にて頂いた際の木札が掲げられたのです」

3月下旬、天神橋3丁目商店街に、「奉修祈禱悪疫退散大阪天満宮」と墨書された木札が掲げられたのです。「2月にTV局の取材があったとき、大阪はまだ危機感が薄くて、天神橋筋商店街の人出も普通だったんです。でも、それだとインパクトがないので、天満宮さんに出向いて、外国人向けにつくったばかりのワールドみこしに魂入れをしてみよう！とTV局が提案してくれて、ちよっどいいと思って、そうしたんです。コロナなんて吹き飛ばしてやりますよ！と威勢のいいことを言いながらね。まあ、そこはカットになっただけでも（笑）」。

2月 子どもたちも店をお手伝い 仔na音 さんに聞く

結果的に、お客さんが 子どもたちの面倒を見てくれたようなもの



2月27日、大阪市立の小中学校が臨時休校するとの発表がありました。2人の子どもを育てながら夫婦で飲食店『心・旬・魚 Aburi Dining 仔na音』を営営する森岡あゆみさんも、休校の影響を受けたひとりです。「感染予防のためにスタッフ全員を休ませたので私が働かざる

を得ず、今まで子どもたちの面倒を見てくれた母や妹に来てもらうわけにもいかず、頼る人がいなくてつらかったです。感染が心配で、自宅留守番をさせていきましたが、長くは続きませんでした。「娘のほうが精神的に参ってしまい、これはあかん、せめて昼だけでも外の空気を吸わせてあげようと思ったんです」。子どもたちには、店頭でのテイクアウト作業を手伝ってもらうことにしました。「周辺はビル街ですが、換気のために窓を開けていたので、子どもたちの声がよく通ったようです。声を聞いたお客さんが続々と来られました。子どもたちもお客さんとの会話を楽しんでいて、自粛生活のストレスを発散することができました」。

4月 緊急小口資金を受け付けた 北区社協 さんに聞く

スピード感が大切だと思いました

社会福祉協議会には、収入が減少し、一時的な生計維持が必要な人のために、緊急小口資金の貸付制度があります。3月以降、神山町にある大阪市北区社会福祉協議会では申請受付専用のテントが設置されて、職員が総出で対応に当たりました。3月の最終週で21件だった申請が4月最初の週には104件に増え、その後も増え続けたことから、いかに多くの人が、緊急小口資金を必要としたのがうかがえます。「シングルマザーが多かったのが印象的でした。子ども2人を育てながらトリプルワークをされている方もフードドライブからお米を渡したり...」。緊急小口資金は約2週間後には融資が実行され、このスピードに救われた人も多かったのではないかと思います。（ルイス）

コロナウイルスが 過ぎたあとも、 私たちが 忘れたくないこと

浅香保ルイス龍太

つしまふ編集長

ダイヤモンド・プリンセス号で新型コロナウイルスの集団感染が起きていた2月、申し訳ないけれども、まだテレビのなかの遠い場所の出来事だと思っていた。その後、大阪のライブハウスでクラスターが発生したりもしたが、僕は、以前から計画していた石垣島旅行を中止することなく決行した。この時点で、大阪の感染者数は1桁だったのだから。

そこから、世界はターボエンジンがうなりを上げるようにして、パンデミックにまっしぐらに向かっていった。それはまるで、スモールワールド現象の「六次の隔たり」そのものだった。知り合いの知り合いを繰り返したとていくと、6人目でほぼ世界中の誰ともつながりを持つという、あの話だ。まるで網の目をたどるように、新型コロナウイルスは人と人の縁の連鎖の上を走り、僕たちの元に向かって来て、一瞬で世界を覆ってしまった。中国中部にあつたはずの感染症が僕らのまちに来て、あそこで働く人に陽性反応が出た、そこで暮らす人が隔離された、そんな噂が駆け巡った。マスクの買い占め、自粛警察と呼ばれる人たちの出現だけでなく、個々人の感染症に対する温度差が、そのまま人と人とを分断させた。人と人との縁が、これほど悪意を持って捉えられたことは、なかった。人に会うな、家にいろ。慣れないマスクをしたり外出を控えたり、志村けんの前近に迫り、それが決定的になったのは、僕の場合、4月の緊急事態宣言が発令された頃のことだった。本業の広告制作の仕事が、このとき、ゼロになった。例年だとGW前にたくさんの仕事の依頼が来て、GW明けに納品というサイクルだったものが、今年はゼロになったのだ。事務所を構えて30年以上になるけれども、一瞬でも仕事がゼロになったことなんて、ちよっど記憶にない。ゲンキンなもので、このときに初めて、新型コロナウイルスの恐怖が全身を襲ったのだった。このまま仕事がまったく来なかったらどうしよう、と、妄想が妄想を呼び、心底震えた。厳密には仕事がゼロになったのではなく、イベントの延期や外出自粛などで一時的に仕事が止まって出るだけというものもあったのだけれども、とにかく、目の前に取り組むべき仕事がないのだ。身軽になって清々した！などと強がっている場合ではまったくない、なんの保証もない経営者やフリーランスは、こういうとき、途端に情けないくらいに弱々しい気持ちになる。各種給付金はありがたかったが、そんなものでは、真つ暗闇で先行きが見通せない不安はまったく解消されなかった。繁華街から人の気配が消え、御堂筋や堺筋から車が消え、店からお客が消え、マスクが消え、そもそも店が閉まり、電話は鳴らなくなり、ライブハウスから音が消え、シャッターを下ろさないパチンコ店がやり玉に挙げられた。多くのものが活動をストップさせた。30

4月

大学の授業をリモートでやってみた
奈良県立大学 松岡慧祐

手紙をやりとりするようないくつかのページでもいろいろ

4月からすべての授業をリモートで実施することになり、授業のスライドに音声録音した動画をつくって配信する日々がはじまりました。当初はかつて憧れたラジオDJになったような気がして新鮮でしたが、すぐに自分の滑舌の悪さに絶望(笑) 何回も録り直していると、授業時間の何倍も時間がかかりました。それでも学生は好きな時間に自分のペースで授業を受けられるので、提出してくる課題のクオリティーが格段に高くなったことは確かです。その意味で、大人数の講義に関しては、むしろオンラインの教育

4月

500円日替わり弁当をはじめた
てつたろう梅田中崎町店 さんに聞く

コースカツ

麻婆豆腐春雨入り

小松菜と厚揚げの炊いたん

ハモの子ゼリー寄せ

栄養バランスも良く、目にも美味しいつくりにたての総菜が並び日替わり弁当。500円(店頭価格)とお財布にも優しく、商売は成り立つのか心配になります。てつたろうが弁当をはじめたのは、緊急事態宣言発令の翌日の4月8日。代表取締役の柳川誉之さんは1月末には異変を察知し、ウーバーイーツへの申し込みを

効果は高かったわけですが、問題は対話を前提とするゼミです。ゼミは少人数といえども10人前後いるので、Zoomで議論をしようとしても、「コミュニケーションがうまくいかない」と見切りを付け、ウェブ上のスレッドに各自がコメントを書き込んで、文章で対話する方法に切り替えました。すると、普段はSNSで短文のやりとりしかしない学生たちも、いつになく言葉を尽くして厚みのある議論を展開。ゼミでは、あえて同期せず、じっくり考えてアウトプットする時間をつくる。そういう時間があるときだからこそ、数日かけて手紙をやりとりするようなペースでもいいくらい。これが、「おうち時間」に、対面ではできないことを模索した私なりのオンライン授業でした。(終)

5月

大阪宅建北支部 支部長
難波啓祐 さんに聞く

ビルオーナーとテナント
日頃の付き合いが大切

不動産関連団体向けに、新型コロナウイルス感染症の影響で事業活動が縮小し賃料の支払いが困難になったテナントに対して、賃料の支払い猶予に応じるよう国交省から要請が出たのは3月31日のこと。これを機に、家賃の支払いを待ってもらえるか聞いたとか、家賃を支払わなくてもいいと聞いたという問い合わせや相談が増え、そのたびに「悲しくなります」と難波さん。「売り上げが下がったわけでもないのに減免の相談をしてくださる方もいました。テナントさんの売り上げが上がったら運動して家賃も上がるというわけでもないのに、売り上げが下がったら家賃も下がるというのは、正直困惑しました。ビルオーナーも、いち事業者です。借入れがある場合もあります。こちらの事情も分かってもう努力をしなければなりません。家賃交渉は一方的な話で受け入れられるものではありません。テナントさんにとっても最後の手段だとは分かっています。テナントさんが団結してビルオーナー側と交渉するという話もありましたが、テナントさんとビルオーナーとの関係は個別のものなので、一斉に交渉するよりも話がまとまりにくくなります。それぞれに、ビルオーナーとの関係性が違いますからね。大切なのは、日頃からどう付き合っているかですね。ビルオーナー側の話は、こういうとき、なかなかメディアに取り上げてももらえないだけに、ジレンマを抱えている貴重なお話が聞けました。(稲葉真理)

4月

4〜5月、人通りがなかった
梅田で好み焼き屋を営む

梅田は

人が歩いていないし
客層が変わりました

「梅田は人が歩いていないし休業要請もあつたんで、思い切って4月4日から5月25日まで店を閉めました。前後して、公庫の緊急融資や給付金の手続きを進めていきました。書類の不備で突き返されて、何度かやりとりをしながら、やっと入金してもらってね。公庫のときは、書類を窓口まで持って行くことしたら、フロアにコロナ感染が出たので、来られる方はそれなりの対策を」と言われたので、郵送にしましたわ(笑)」

コロナ禍で飲食店は大打撃を受けていますが、なかでも阪急東通商店街界隈はかなり厳しかったよう。チェーン店が多いせいもあって休業や時短をしている店が多く、人が歩いてないから。また会社員も会社からのお達しで宴会自粛です。「売れないから仕入れができないです。ビール生樽20ℓを7ℓに変えても全部さばくの日に日数がかかるし、当分は日持ちのする瓶ビールに切り替えました。仕入れもいろいろ工夫しています。客層も変わってきました。年齢層が下がってきて、家族連れじゃなくて若者だけが増えてきた。2人でお好み焼き1枚とか。無茶を言うお客さんが増えました」。以前より商店街の様相が変わってきており、コロナ禍でそのことが大きく浮き彫りになったようにも思えます。いろんな意味で変革を求められているのかも。(ルイス)

マスクや消毒液を切らすことなく
販売し続けた
大阪サンセイ さんに聞く



4日間、船場界隈を
マスクを確保しました

2月後半から5月後半にかけて多くの店先からマスクが消え、買い占めや転売が社会問題になっていたあいだも、マスクにマスクひも、消毒液や除菌液を切らすことなく売り続け、ここに来れば手に入る!と印象付けた大阪駅前第4ビルに手芸材料店を構える大阪サンセイさん。山本康雄社長に、あの当時のことを聞いてきました。きつと仕入れの苦労があったはず。

「マスク関係の仕入れ先はもともお付き合いのいいところばかりですね。船場界隈を端から端まで、片っ端から飛び込んでいって、4日間かけて全部まわってね。それでようやくマスクを卸してくれるところを数軒見つけたんです。もちろん、現金仕入れ。業界が違えば、長く扱うつもりもなかったから、掛けじゃなく

4月

「変わらなければ」の大合唱のなかで、消えてほしくないものや変わってほしくないものがある。

「変わらなければ」の大合唱のなかで、消えてほしくないものや変わってほしくないものがある。人いざれを感じることでできる距離のナマの対面や、親しい仲間たちとひとつの鍋を囲んで楽しむことや、パフォーマーやプレイヤーの汗や唾が飛んできそうなの、かぶりつきの席……。そのような、押しても引いても手応えのある現実のフィジカルを伴った交わり。そんなものも消えてしまおうのかもしれないし、変わってしまうのかもしれない。その変化についていけないかもしれない。その変化は進化論の正義だが、正義はそれだけではない。世のなか、正義だけで成り立っているわけでもない。

この美しい風景よ、この宝石のような時間よ、消えてなくなるな! 消えてしまおうと分かっているからこそ、そのような祈りにも似た願いを叫んでしまおう。消えてほしくないもの、変わってほしくないものにこそ、僕は目を向けていたい。ついに変われなかつた人たちこそ、僕は手と手をつないでいたい。コロナ禍のなかで僕が見ていたものは、そのような、センチメンタリズムにも似た夕景なのかもしれない。消えてしまおうものや変わってしまったもの、ついに変われなかつた人たちを、ゆめ忘れることなかれ。(終)

コロナの時代の私たち

コロナウイルスが過ぎたあとも、私たちが忘れたくないこと

消えてほしくないもの

私と私の家族は緊急事態宣言解除まで、どう乗り越えたのか？

浪速区まちづくりセンターアドバイザー／3人家族の大黒柱／ユーザー／時々八百屋 平井裕三

●2月28日(金)
夕方のニュースで、明日2月29日から3月13日まで小学校が臨時休校と知る。娘は小学5年生なのでなんとかひとりで留守番できるけど、もし今低学年だったら、妻か私のどちらかが仕事を休まんと無理やるな。

●3月3日(火)
仕事で担当地域に行くとき、子どもたちが学校へ行けず、かと言って、家でひとりは危ないということ、地域の集会所に続々とやって来る。この様子を見て、明日からしばらく子ども食堂をはじめようという声。地域の人は本当に頭が下がります。

●3月4日(水)
休校2日目、これは長期戦だと気づいたのか、ゲームの時間を延ばしてくれと娘にお願いされる。ゲームのなかで友だちと会話できるからいいのだけど、ゲーム依存症になつてほしくない。

●3月7日(土)
今日は何度目かの私の生誕祭。今年欲しいのは物

でなく健康。コロナに感染しないよう願う。そう思ったなら、じつとしていられず厄よけで有名な京都の吉田神社へ。コロナに負けるな！ 疫病退散!!

●3月11日(水)
政府が「今が正念場」と発表してから2週間が経過。収束するどころか、今日近所の商業施設でコロナ感染者が出た。だんだんとコロナの影響が身近に。正直いつ感染してもおかしくない。

●3月12日(木)
昨日、WHOが会見で「新型コロナウイルスはパンデミック」と発表した。なんで今まで発表しなかったのだろう。きっと核燃料が溶け落ちてメルトダウンと言えなかつたあのと一緒だろう。

●3月13日(金)
今日も株価の下落が止まらない。日経平均も一時1万6000円台に突入した。コロナに感染するのも心配だけど、不景気になるのも心配。

●3月14日(土)
ストレスフルな家族3人が気分転換にと、関西で

唯一営業している須磨浦山遊園地へ行く。そこはまるで昭和にタイムスリップしたような場所でした。乗り心地の悪さで有名なカールレーターに「乗り心地悪すぎて草生える」と令和な感想をいただきました。屋根が付いているから草は生えんと思うけど。

●3月21日(土)
ひとりで奄美大島に行つてきます。本当は家族で行くはずが、コロナが怖いので辞退しますと。私

●3月24日(火)
3日間奄美大島を満喫。シュノーケルに黒糖焼酎飲み比べに、クロウサギにも出合えた。満足したが3日間の旅行で満喫するには、奄美大島は広かった。落ち着いたら家族で訪れたい。

●3月27日(金)
オリンピックの1年延期が決まった。その直後に

日本でもコロナの感染が広がりを見せ、昨日首都圏で外出自粛要請が出た。それに呼応して、吉村大阪府知事は、今週末は不要不急の外出を自粛するようにと呼び掛ける。感染者数はオリンピックが延期になるまで抑えてたんだらうか？ 考えすぎか。

●4月2日(木)
新世界に行ってきた。歩いている人がまばらでほとんどのお店が閉まっていた。まち全体が真っ暗

●4月7日(火)
大阪を含む7都府県に対し、緊急事態宣言が発令された。発令されたらどうなるのだろうか。海外のような「ロックダウン」ではないので、正直判断

●4月8日(水)
●4月14日(木)
●5月14日(木)
●6月15日(月)

緊急事態宣言の発令で多くの飲食店が休業。そんななか、慣れないテイクアウトをはじめたお店を応援したいとInstagramでハッシュタグ「大阪市北区エール飯」を付けて発信し、情報を共有しようとしてSNSで呼び掛ける。手間要らずだから、投稿する人が増えて情報を求めている人に届いてほしい。

●4月25日(土)
昔世話になった八百屋さんが、飲食店への配達が減ったので、個人宅用に野菜を宅配しようかなと考えているという話を聞き、土曜日だけ野菜の配達のお手伝い。コロナのおかげで八百屋に。しばらく土曜日は中央市場で果物と野菜とにらめっこです。

●5月14日(木)
今日から5月31日まで臨時休校中の登校日というかたちで学校が再開。休校中の臨時登校ではないの？ 変なの。学校に行つても分散登校なのでクラスメートの半分しか会えない。それでも

●6月3日(水)
一蘭にラーメンを食べに行つたら、ソーシャルディスタンス対策早いと感心。よく考えたら、もともとこのお店はこういうスタイルだった。このスタイルを鶏小屋のブロイラーと皮肉人もいるが、これからはこのスタイルがスタンダードになるかもしれない？

久々に登校できて、娘はうれしかったみたい。「大阪モデル」という大阪独自の基準が誕生し、基準を7日連続で達成したことで、今日からイェローからグリーンに。5月16日から休業要請を緩和するそう。

●5月21日(木)
大阪府の緊急事態宣言が解除、「休業要請」も解除された。

●6月3日(水)
一蘭にラーメンを食べに行つたら、ソーシャルディスタンス対策早いと感心。よく考えたら、もともとこのお店はこういうスタイルだった。このスタイルを鶏小屋のブロイラーと皮肉人もいるが、これからはこのスタイルがスタンダードになるかもしれない？

●6月15日(月)
今日から小学校は通常授業。分散登校が終わり、集団登校もはじまりました。夕食のときにいつものようによくしゃべる娘の様子を見て、わが家も少しずつ日常に戻りつつあるのだなと感じました。(終)

6月

風俗営業だつて、コロナの影響を受けている無料案内所

家庭があつたり、仕事で責任ある役職に就いている人は、遊びにくくなっていますね

ぼつたりや違法客引きを排し、安心して遊べるお店を紹介している無料案内所。案内先のお店がいわゆる「接待を伴う飲食店」として自粛を求められるようになり、大阪で夜の飲食店等への外出自粛要請が出たのは3月31日のことでした。「まず、飲食店が開いていないとはじまりません。ご飯も食べずに飲みだけにこうなんて人は少ないでしょう。自粛要請が出てからは、案内先のお店も休業したり、時短営業をされていました。時短営業をされていたところは、お酒を出せるのが20時までと制限されていたから、21時くらいには店を閉めるんです。これまでにぎわっていた時間帯に閉めない

いけないんですよ。案内所としても、案内できるお店が開いていないことには仕事になりません。だから、自粛期間中は案内所も休業していました」と話してくださったのは、阪急東通商店街にある、とある無料案内所さん。「それに、時短営業をしているお店があつても、予約がないと店を開けないんですよ。前日までに女の子を指名して予約しておかないと入れないんです。そんなと紹介は要らないので、無料案内所の仕事はないんです」。自粛が解除になってからも、状況は大きく変わらず、企業による接待禁止や出張禁止などが続いており、売り上げは前年

同月比で約1割にまで落ち込んだそう。これまで、1日で2軒3軒と案内していたお客さんが、今は1軒行くかどうかすいているお店を選んで案内しています。案内所を一番利用してくれていた人たちは、家庭があつたり、仕事で責任ある役職に就いていたりするし、周りの目もあるから、遊びにくくなっていますね。そもそもまちを出歩かなくなっています。企業の残業禁止やリモートワークの影響は如実に、まちを歩いているのは、若い人ばかり。まちの客層も変わりつつあります。「お客さんの気まぐれを待つしかないですね」。それが本来の姿かもしれないと語ってくれました。(稲葉真理)

6月

北新地のカラオケスナック Barlcony



お客さん一人ひとりにマイクカバー

当店のウェルカムドリンクは、約45度のリキュール、ウンダーベルグです。これで喉を殺菌！ そらやつて楽しまないと、心が折れるから

も言えます。そんななか、どうやって生き延びる道を探っているのか、北新地にカラオケスナック「Barlcony」を構える北川毅さんにお話を聞きました。「夜の飲食店等への外出自粛要請が出された翌日の4月1日にお店を休業しました。緊急事態宣言が解除になってからもすぐに店を開けて人が殺到するのがイヤだったので、2週間ほど自主的に休業して、6月15日に再開させました。用心のために長い休業となりましたが、その間は、これ、再開できるんだらうか？ と不安に苛まれました。大好きなゴルフ三昧です(笑)。食事も風呂もロックスも閉鎖しているの、ひとりで車でゴルフ場に行つて、ラウンドして帰るだけだから、かえって安全です。ただ、みんな考えることは同じで、人はたくさん

来ていました(笑)。あと、防犯も兼ねて、店の植物に水やりには行っていません。先の見えない不安をゴルフでかき消しながら、いよいよ再開。「まず、ポリカーボネートのパネルで間仕切りし、席はひとつ飛ばしで。非接触タイプの体温計で入店時に体温チェック、テンプルやイスマしよつちゅうアルコール消毒です。それに加えて、当店はカラオケがあるので、マイクカバーを用意しています。マイクカバーをお客さん全員に1枚ずつ渡し、歌うときには自分のマイクカバーを付けてもらうことにしています。歌う人が変わる際にはマイクを消毒してからマイクカバーを取り替えてもらいます。それと、マドラーも、使いまわしせずに、お客さんひとりにつき一本のマドラーを

使って、感染拡大を防いでいます。カラオケスナックならではのノウハウがあるのです。「そうそう、当店のウェルカムドリンクは、ドイツの薬草系のリキュールでウンダーベルグという約45度のお酒です。これで喉を殺菌！ 医学的にどうかではなくて、そらやつて楽しまないと、心が折れるから」。満員電車で感染するのは仕方がないけど、夜のまちで感染するとつるし上げられています。夜のまちが悪者。働いている人もいるのに。社会全体で、マインドチェンジをして、コロナと共存しながら経済をまわし、みんなが生き延びられるようにしてほしいですね。とかくやり玉に挙げられがちな夜のまちで働く人ならではの視点で、今後を語ってくれた北川さんでした。(ルイス)

6月

こんなときにファンデ探し
秋山暁子

アラフオ〜OLの コロナ禍下 ファンデ乗り換え ドタバタ顛末記

ファンデーションを乗り換えよう。そう思い立った2月。ネットでお目当ての商品のモニターに応募した。使ってみると、悩みのシミをしっかりとカバーしてくれる。モニター特権のクーポン券を片手に、百貨店へ行くこうとしていた3月。不要不急の外出は控えよと。うむむ：ファンデ購入は不要不急か…？

4月になり、百貨店が休業。手元の旧ファンデをちびちび使う5月。6月だ！10年ぶりに、百貨店でファンデを買うんだ!! 美容部員さんに私の肌に合う色を選んでもらうんだ!!! 久々のことで緊張気味に訪れたカウンターで待っていたのは、ビニールシート越しの美容部員さん。「私たち、お客さまに触れることができなくなってます」と。クレンジングを渡され、拭き取ったあとに自分で数色のファンデを塗った。ビニール越しに上下左右から鋭い目でチェックを受け、「なじむのは真んなかですが、明るく見せたいなら左ですね」と。コロナ禍前ならば、購入ついでに美容部員さんにメイクしてもらえて、そのまたついでに肌状態も見てもらえて♡…そんな10年ぶりの夢はかなわぬまま、ミッションコンプリート。お代を払って、真っすぐお家に帰りましたとさ。(終)

8月6日

曾根崎防犯協会支部長
藤野雅文 さんに聞く

この隙に半グレが はびこらないように



「月2回おこなっている夜間の青色防犯パトロールは、感染拡大防止のためにも3月から中止を余儀なくされています。6月に再開したものの、リスク回避のために月1回に。いつもは同行してくれる警察官も、警察署に感染拡大すると閉鎖に追い込まれることもあって、私たち市民との協働を自粛されています」。実質、夜の防犯活動ができていない状態だけど、ぼったくりの店や風俗店などはコロナ禍をもとめせずに営業しているところがたくさんあります。

「コロナ禍で、曾根崎・北野エリアにみならず飲食店は大打撃を受けているわけですが、そのせいもあって、ただでさえ迷惑極まりない違法客引きの強引な勧誘がより一烈さを増し、不快な思いをされる方が増えています。感染リスクもあるミニミに休業要請が出されたとき、半グレや違法客引きがキタへ流れてきたとの情報もあります」。防犯活動は地道にすり足と粘り腰でおこなうものですが、そうした努力が、これまで同様、今回の危機も乗り越えますように。(ルイス)

鳥取に帰省しようとしたら…
稲葉真理

大阪から来た というだけで 濃厚接触者扱いに なります

90歳を超えた祖母が、年明けから入院を繰り返すようになりました。「今年はいつもの年以上に鳥取に帰って顔を見せよう」と思っていたら、コロナ禍が深刻になり帰れない状態に。

7月初めに自宅で倒れ、かかりつけの病院に入院していたところ容体が急変し、設備の整った大きな病院に緊急搬送されました。救急車には、家族ではなく医師が同乗しての搬送でした。夜10時、到着した病院ですぐさま検査を受け、翌日には手術をしなければならぬことに。提案された手術の方法は2つあり、どちらも術後の容体が心配されるものでした。翌日の午後一番で手術をおこなうため、どちらの手術にするか、朝8時までに決めるようにと告げられる。緊急事態でした。家族で話し合っている暇はほとんどありません。しかも家族はみなバラバラに住んでいて、私たちをつないでいたのは、LINEだけ。連絡を取り合うだけで精いっぱいなのな、手術の方法を決め、手術開始には間に合わなくてもいいからとにかく鳥取に帰っておいで、と言われたのは、日付が変わった頃でした。ところが、手術直前になって、帰らなく

ていいと言ったのです。帰っても、大阪から来る人は病院には入れないと断られたそう。折悪く、大阪で新型コロナウイルスの感染者数が再び増えはじめたことから、鳥取県は大阪府を警戒の度合いが最も高い「特別感染警戒地域」とし、それに伴って鳥取県内の病院は、大阪からの来県者の来院に制限を設けたのです。大阪から来る人はみんな新型コロナウイルス感染者、と言われていたのかのよう、暗たんとした気持ちになりました。幸い祖母は無事でした。手術の翌日には、県内在住者限定で、1日1回2人まで15分未満という制限付きで面会ができましたが、さらにその翌日には鳥取県内で新たな感染者が出たことで、県内在住者であっても面会不可となりました。日々状況が変わり、来院者は面会のたびに「県外に家族がいますか?」「どの都道府県ですか?」「その家族と接触していませんか?」といった質問をされるのだから。病院では、鳥取県が、「特別感染警戒地域」「重要感染警戒地域」「感染警戒地域」に指定している都道府県に在住している人と食事をともにするなど接触した県民は、新型コロナウイルス感染者と濃厚接触したと見なされるといいます。つまり、私が帰省するだけで、実家の家族は濃厚接触者扱いとなり、家族はたった15分の見舞いにも行けなくなるといふことです。私が感染してはいないとは言いつつも、悔しいやら情けないやら。鳥取県が各都道府県に対して指定する警戒の度合いは、毎日変わります。日々更新されていますが、大阪が警戒地域に指定されている間は、病院はもちろんです、家にも帰れません。鳥取へ旅行には行けるけれど、帰省はできません。これほど故郷を遠くに感じたことはありません。(終)

6月

ナマで音楽を聞くライブハウスの文化を消したらあかんです 制約だらけのなかでそれを逆手にとってどう楽しめるか

入口には、消毒液とプロレスマスク。お店に入ると渡されるベトナムの竹笠みたいなのは、手づくりのフェイスシールド。真っ赤に塗られた笠に描かれた水玉や目玉。シールドは目の部分だけ切り取られていて、かぶってもステージをナマで見られます。客席の誰もがわれ先にとかぶらずにおれない、こんな楽しい仕掛けがあるのは、梅田にあるライブハウス『ムジカジャポニカ』。

3月初めに、北区のライブハウスでクラスタが発生。コロナ禍は真っ先に、ライブハウスを直撃しました。「このお店は、音楽をわりわいとしているプロの音楽家、ライヴハウスです。コロナ禍が長く続くようなら、対策を考えないといけない」と迷っているうちに、公演がどんどんキャンセルになりました。オーナーのせい子さんは「精神的に落ちるところまで落ちました。でもそのとき、完全に安全にライブができる方法を一緒に考えよ」

うーと言ってくれたのは、音楽家たちでした。予約をしていたけれどキャンセルをしなければならなくなったのは、見に来るお客さんも同様。「ライブハウスがどんな場所か知っている人は、ギリギリまで来ようとしてくれます。でもみなさんそれぞれにキャンセルしなければならぬ理由があって。その苦渋の決断をキャンセルメールに書き添えてくれるんです。メールは全部残してあります。私の宝物だから。ライブハウスに来る人は、音楽家もお客さんも、みんな良識を持った意識が高い大人ばかり。それは、ライブハウスが音楽だけでなく、文化のよりどころだからです。私はライブハウスに来る人を信じています」。音楽を愛する人に愛されるムジカジャポニカでしか聞けないお話です。

自粛解除後の6月末にライブを再開。完全に安全な場所であるために、良いと言われているものなんでも取り入れていきます。「次亜塩

日本中のミュージシャンから絶大な信頼を得ているライブハウス「ムジカジャポニカ」のオーナー
伊藤せい子さんに聞く

素酸が除菌に効果があると聞けば取り入れ、飛沫感染防止のために、汗をかけるように冷房を寒いくらい効かせています。換気のために防音扉も開けっ放しです。来てくださる方に安心してもらうのが一番です。一度来た人は安心してまた来てくれるようになる、とも。あらゆる対策をしている姿を見ると、今、ライブハウスほど感染対策が進んでいる場所はないと感じます。「消毒や除菌も、嫌すぎてもう楽しむしかないんですよ。全部アトラクションにしておもしろがってやるうーって。フェイスシールドはまさにそれで、みんなが楽しんでかぶってくれます。もう、とことんやります。以前には戻れないんだから。あとはとことん遊び倒すだけです」。腹はくくった、と。音楽を愛するすべての人のために、あらゆる手を尽くして、ナマの音楽のある日々を守ってくれています。

(稲葉真理)

写真は伊藤せい子さんの Facebook から



新型コロナウイルス 年表



世のなかの動き・出来事

大阪府・大阪市の動き

国の動き

※「新型コロナウイルス感染症」は「新型コロナウイルス」に短縮して統一

日付	大阪府勢	大阪府・大阪市の動き	国の動き
1/15	0人		
1/16	0人		
1/17	0人		
1/18	0人		
1/19	0人		
1/20	0人		
1/21	0人		
1/22	0人		
1/23	0人		
1/24	0人		
1/25	0人		
1/26	0人		
1/27	0人		
1/28	0人		
1/29	1人		
1/30	0人		
1/31	0人		
2/1	0人		
2/2	0人		
2/3	0人		
2/4	0人		
2/5	0人		
2/6	0人		
2/7	0人		
2/8	0人		
2/9	0人		
2/10	0人		
2/11	0人		
2/12	0人		
2/13	0人		
2/14	0人		
2/15	0人		
2/16	0人		
2/17	0人		
2/18	0人		
2/19	0人		
2/20	0人		
2/21	0人		
2/22	0人		
2/23	0人		
2/24	0人		
2/25	0人		
2/26	0人		
2/27	1人		
2/28	2人		
2/29	0人		
3/1	0人		
3/2	2人		

3/3	2人		
3/4	9人		
3/5	1人		
3/6	13人		
3/7	10人		
3/8	14人		
3/9	0人		
3/10	18人		
3/11	7人		
3/12	9人		
3/13	3人		
3/14	10人		
3/15	4人		
3/16	2人		
3/17	4人		
3/18	5人		
3/19	2人		
3/20	4人		
3/21	2人		
3/22	6人		
3/23	3人		
3/24	8人		
3/25	7人		
3/26	7人		
3/27	20人		
3/28	15人		
3/29	17人		
3/30	8人		
3/31	28人		
4/1	34人		
4/2	33人		
4/3	35人		
4/4	41人		

武漢

コウモリ

トイレットペーパー品薄 (デマ拡散)

転売ヤー

次亜塩素酸水

クラスター



アマビエ

時差出勤

テレワーク
リモートワーク

ハンコ

ティクアウト

オーバーシュート

3密

花見自粛

不要不急

ロックダウン

星野源
うちで踊ろう

ZOOM

大阪の感染者数 (グラフ)

240

220

200

180

160

140

120

100

80

60

40

20

0

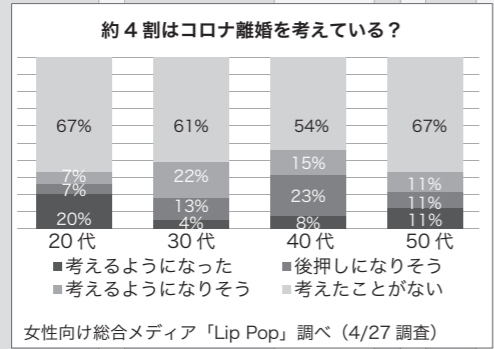
年表作成 / 田口和成・松岡慧祐・浅香保ルイス龍太

日付	大阪府・大阪市の動き	国の動き
4/5	21人	
4/6	20人	
4/7	53人	・特措法に基づく緊急事態宣言発令 (4/7~5/6) ・埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県を区域指定 (4/16に全道道府県を指定) 5/4に期間を5/31まで延長決定 ・総額108兆円規模の緊急経済対策の閣議決定
4/8	43人	・都道府県に対して、感染防止について事業者者に適正な要請をするよう連絡 ・新型コロナウイルス対策として、初診から電話やオンラインによる診療が可能になる ・区域指定外の道府県に接客を伴う飲食店等への外出自粛を促す
4/9	92人	・公明党代表、1人当たり一律10万円の給付を首相に要求 ・首相、減収世帯に30万円給付案を撤回。1人当たり一律10万円給付を表明
4/10	80人	・自民党幹事長、1人当たり一律10万円の給付を政府に求める考えを表明 ・大阪府、大学他でワクチンや治療薬等の研究開発の連携協定を締結
4/11	70人	・大阪府、緊急対策補正予算の知事決定 ・大阪府、緊急対策補正予算の知事決定 ↓「テラパリーサーブ」による外出自粛促進、児童生徒等への学習支援、高齢者等見守り支援等
4/12	45人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/13	24人	・特措法に基づく緊急事態措置の追加 (4/14~5/6) ↓施設使用制限 ・軽症者等の宿泊療養開始 ・大阪府、緊急対策補正予算の知事決定 ↓「テラパリーサーブ」による外出自粛促進、児童生徒等への学習支援、高齢者等見守り支援等
4/14	59人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/15	74人	・特措法に基づく緊急事態措置の強化の決定 ↓施設使用制限の協力要請にしない施設名の公表 ・宿泊療養解除にかかる陰性確認のためのPCR検査を開始
4/16	52人	・大阪府、緊急対策補正予算の知事決定 ↓「テラパリーサーブ」による外出自粛促進、児童生徒等への学習支援、高齢者等見守り支援等
4/17	55人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/18	88人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/19	48人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/20	84人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/21	54人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/22	31人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/23	35人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/24	31人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/25	29人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/26	16人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/27	30人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/28	32人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/29	44人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
4/30	28人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/1	14人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/2	17人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/3	10人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/4	13人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表

日付	大阪府・大阪市の動き	国の動き
5/5	7人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/6	12人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/7	8人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/8	10人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/9	16人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/10	11人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/11	1人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/12	6人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/13	12人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/14	3人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/15	3人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/16	2人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/17	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/18	1人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/19	3人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/20	3人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/21	3人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/22	1人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/23	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/24	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/25	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/26	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/27	1人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/28	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/29	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/30	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
5/31	1人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
6/1	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
6/2	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
6/3	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
6/4	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表
6/5	0人	・大阪府、十三市民病院を新型コロナウイルスの専門病院とすることを発表

大阪府の感染者数 (グラフ)
240
220
200
180
160
140
120
100
80
60
40
20
0

年表作成 / 田口和成・松岡慧祐・浅香保ルイス龍太



和菓子の薫々堂からアマビエ登場

小麦粉製品品薄

出勤8割減

安倍首相うちで踊ろう

大阪府が雨がっぱの提供を呼び掛け

Nintendo Switch 購入殺到

コロナ倒産

ジョギング

公園が密

新しい生活様式

自粛警察

ソーシャルディスタンス

ソニーと東芝の合併について合意

国と東京都、休業要請の対象について合意

東京都、休業要請対象施設と休業協力金最大100万円支給の発表

愛知県、岐阜県、三重県の3県、独自の緊急事態宣言発表

日本国内の累計死者数が100人超え

日本国内の累計感染者数が1万人超え

立憲朝の礼、延期を決定

イラン大統領、WHOへの拠出金停止を表明

IMF、経済成長率が世界恐慌以降で最悪になる見込みと発表

長崎港に停泊中のクルーズ船コスタアトランチカの乗員が感染

岡江久美子さん死去

4月の月例経済報告で「急速に悪化」悪化は約11年ぶり

都知事、4/25~5/6を「いのちをたもたせたいHOME週間」とし、外出抑制を要請

インターネットの中止を発表

電機メーカーのシャープ、マスクの抽選販売を開始

全国中学校体育大会の中止を発表

神奈川県と兵庫県、休業要請に応じないパチンコ店に休業指示 (全国初)

大阪府、緊急対策補正予算の市長決定
↓特別定額給付金

制度融資「新型コロナウイルス対応資金(保証料等補助型)」の取扱開始
大阪府、緊急雇用対策として雇用期間を限定した職員の採用

大阪府、緊急雇用対策として雇用期間を限定した職員の募集
大阪府、特別定額給付金オンライン申請受付開始
休業要請支援金支給開始

大阪府、特別定額給付金申請書郵送開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓新型コロナウイルスを支援した医療従事者等への支援、休業要請外支援金等
大阪府、緊急対策の補正予算成立
↓子育て世帯への臨時特別給付金、学校教育ICT事業、社会福祉施設等における感染拡大防止対策

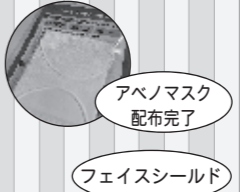
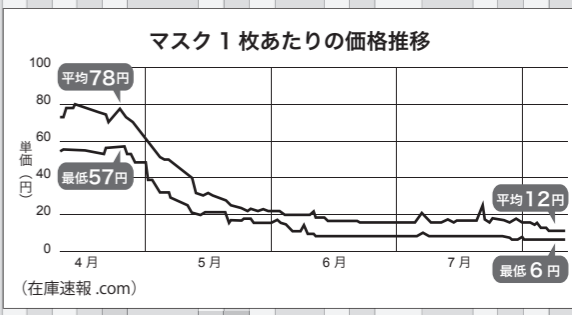
特措法に基づく緊急事態措置の原則解除 (6/1以降すべての施設の休止要請解除)の決定
府主催イベントはおおむね3週間ごとに規模拡大
すべての府有施設は、条件が整い次第順次再開
大阪市、特別定額給付金オンライン申請分支給開始

日付	大阪府・大阪市の動き	国の動き
6/6	一人	
6/7	一人	
6/8	一人	
6/9	0人	
6/10	0人	
6/11	一人	
6/12	0人	
6/13	0人	
6/14	一人	
6/15	0人	
6/16	3人	
6/17	4人	
6/18	4人	
6/19	2人	
6/20	6人	
6/21	3人	
6/22	0人	
6/23	0人	
6/24	2人	
6/25	1人	
6/26	2人	
6/27	2人	
6/28	5人	
6/29	7人	
6/30	5人	
7/1	10人	
7/2	8人	
7/3	11人	
7/4	17人	
7/5	6人	
7/6	8人	
7/7	12人	
7/8	10人	
7/9	30人	
7/10	22人	
7/11	28人	
7/12	32人	
7/13	18人	
7/14	20人	
7/15	61人	
7/16	66人	
7/17	53人	
7/18	86人	
7/19	89人	
7/20	49人	
7/21	72人	
7/22	121人	
7/23	104人	
7/24	149人	
7/25	132人	
7/26	141人	
7/27	86人	
7/28	155人	
7/29	221人	
7/30	190人	
7/31	216人	
8/1	195人	
8/2	194人	
8/3	81人	
8/4	193人	
8/5	196人	
8/6	225人	
8/7	255人	
8/8	178人	
8/9	195人	
8/10	123人	
8/11	101人	
8/12	184人	
8/13	177人	
8/14	192人	
8/15	151人	
8/16	147人	
8/17	71人	
8/18	185人	
8/19	187人	
8/20	132人	
8/21	166人	
8/22	134人	
8/23	121人	
8/24	60人	
8/25	119人	
8/26	119人	
8/27	94人	
8/28	106人	
8/29	90人	
8/30	62人	
8/31	53人	
9/1	114人	
9/2	96人	
9/3	74人	
9/4	74人	
9/5	76人	
9/6	67人	
9/7	45人	
9/8	41人	
9/9	63人	
9/10	92人	

・大阪府、緊急対策補正予算の知事決定
↓医療従事者、介護・障がい者福祉施設職員等への慰労金の支給等
・感染防止宣言ステッカーの発行開始

・大阪府、緊急対策補正予算の知事決定
↓医療従事者、介護・障がい者福祉施設職員等への慰労金の支給等
・感染防止宣言ステッカーの発行開始

・大阪府、緊急対策補正予算の知事決定
↓医療従事者、介護・障がい者福祉施設職員等への慰労金の支給等
・感染防止宣言ステッカーの発行開始



このへんから第2波?

病院や高齢者施設でクラスター

マスク熱中症

大阪の重症者数抜きん出て多い

給付金の不正受給相次いで発覚

オンライン帰省

7/18	令和2年大阪府高校野球大会(夏季独自大会・代替大会)開催(〜8/10)	・大阪府、緊急対策補正予算の市長決定 ↓1人親世帯への臨時特別給付金	
7/19			
7/20			
7/21			
7/22			
7/23			
7/24			
7/25			
7/26			
7/27			
7/28			
7/29			
7/30			
7/31			
8/1			
8/2			
8/3			
8/4			
8/5			
8/6			
8/7			
8/8			
8/9			
8/10			
8/11			
8/12			
8/13			
8/14			
8/15			
8/16			
8/17			
8/18			
8/19			
8/20			
8/21			
8/22			
8/23			
8/24			
8/25			
8/26			
8/27			
8/28			
8/29			
8/30			
8/31			
9/1			
9/2			
9/3			
9/4			
9/5			
9/6			
9/7			
9/8			
9/9			
9/10			